

2006年7月20日

各 位

日興アントファクトリー株式会社
代表取締役社長 尾崎 一法

アント・カタライザー3号投資事業有限責任組合の設立および投資進捗のお知らせ

日興アントファクトリー株式会社(東京・千代田、取締役社長:尾崎一法 以下「弊社」)は、旗艦プライベートエクイティファンドシリーズである、アント・カタライザー3号投資事業有限責任組合(以下「カタライザー3号」)を設立し、弊社初となる大型再生案件および大手サービサーへの出資を行いましたのでお知らせします。

カタライザー3号は機関投資家等の出資による設立後、第1号案件として株式会社本間ゴルフに持株比率60%の出資(弊社による本体出資持分の譲受)を行いました。本年3月より先行していた役員を含む経営支援要員の派遣と、経営基盤・営業体制の強化支援の結果、株式会社本間ゴルフは民事再生手続開始後約1年で、7月10日付で同手続を終結いたしました。

7月19日には第2号案件として、国内サービサーの草分けである東京債権回収株式会社に、MBOスキームによる出資(持株比率67%)を行いました。今後は役員派遣を含む経営支援を通じ、将来の株式公開も視野に入れた、同社の企業価値向上を目指してまいります。

カタライザー3号は、海外大手機関投資家との提携や特定の業界におけるロールアップ戦略なども検討しており、今後弊社のマイルストーンとなるファンドに成長するものと期待しております。なお、上記両社への出資の詳細につきましては、弊社ホームページ(www.antfactory.jp)記載のプレスリリースをご覧ください。

カタライザー3号の概要

名 称: アント・カタライザー3号投資事業有限責任組合

出 資 総 額: 200億円

設 立 日: 2006年6月1日

契 約 期 間: 2006年6月1日~2014年12月31日

投 資 対 象: 主に日本国内未上場企業の有価証券

投 資 モデル: 対象企業への高い持株比率による投資を行い、徹底的な経営支援による企業価値の向上に努める。

出 資 者 構 成: 金融機関(28%)、事業法人(24%)、年金基金(9%)、その他(39%)

準 拠 法: 中小企業等投資事業有限責任組合契約に関する法律

業 務 執 行: 日興アントファクトリー株式会社

お問い合わせ先:

日興アントファクトリー株式会社
広報担当(藤岡・山口)

Tel: 03-3284-1755